

令和5年度営繕工事の概要

第1節 営繕業務

1 営繕業務

営繕業務には、知事部局及び教育庁の依頼により実施する県有建築物の新築・増改築と、県が保有する409施設(延べ面積約200万m²)のうち、285施設(延べ面積約150万m²)について行う維持修繕、長寿命化等があります。

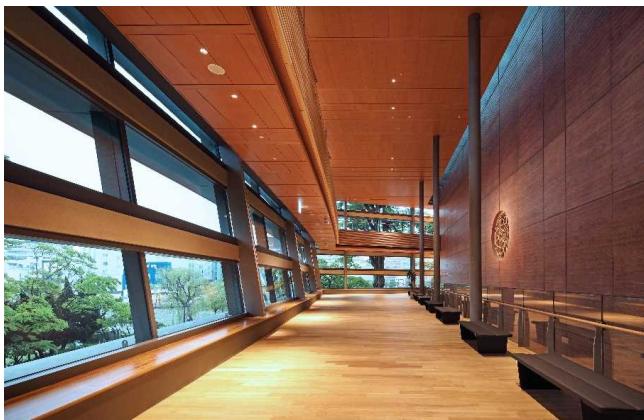
これらの工事の調査・設計・工事監督等を通して、各地域振興局と連携を図りながら、安全で安心な県民共有財産の整備を行っています。

2 重点的な取組

営繕工事の技術管理業務を通じて、県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民に親しまれ積極的に活用されるよう、次のような取組を実施しています。

- ① 県民に親しまれる建築物の計画
 - ・街並みや周辺環境と調和した建築計画
- ② 利用者にやさしい建築物の推進
 - ・地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進
- ③ 環境にやさしい建築物の推進
 - ・県有建築物の環境負荷の低減化
 - ・自然エネルギー(雪冷房、太陽光等)、雨水、地下水の利用
 - ・再生資材の活用
- ④ 県産材を活用した建築物の推進
 - ・秋田杉に代表される県産材の活用
 - ・公共建築物の木造化、木質化の推進
- ⑤ 安全・安心に使える建築物の推進
 - ・構造上、防災上の安全性、使用材料の安全性の確認
- ⑥ 広報の充実
 - ・美の国あきたネットを活用した発信情報の充実
- ⑦ 天井等耐震化の推進
 - ・特定天井の脱落防止対策の推進

[県産材活用の事例]



あきた芸術劇場

- ・令和4年3月 竣工
- ・鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地下1階地上6階建て
- ・建築面積 10,751m²
- ・延べ面積 25,057m²

第2節 営繕関係事業

1 令和5年度営繕工事の概要

【営繕課事業】

令和5年度の営繕課事業は修繕工事を主として年度総工事費約7億円の見込みです。

これは、対前年度比で、約13%の増となっています。

(令和5年4月現在)

修繕種別	令和5年度当初		令和4年度当初		対前年度比較	
	件数(件)	工事費(千円)	件数(件)	工事費(千円)	件数(%)	工事費(%)
大規模修繕工事	12	503,900	12	489,961	100%	103%
天井等耐震化工事	1	104,720	1	33,000	100%	317%
指定修繕工事	2	15,785	1	6,881	200%	229%
一般修繕工事	8	42,118	8	61,662	100%	68%
総計	23	666,523	22	591,504	105%	113%

【受託事業】

令和5年度に知事部局及び教育庁から事務の依頼を受けて実施する予定の受託事業は、延べ70件、年度総工事費約75億円の見込みです。これは、対前年度比で、件数でみると約8%の増、年度工事費で約26%の減となっています。(事務依頼ベース)

(令和5年4月現在)

機関名	令和5年度当初		令和4年度当初		対前年度比較	
	件数(件)	工事費(千円)	件数(件)	工事費(千円)	件数(%)	工事費(%)
知事部局	48	2,639,763	37	2,595,280	130%	102%
教育庁	22	4,833,455	28	7,554,881	79%	64%
総計	70	7,473,218	65	10,150,161	108%	74%

※ 修繕工事等を含む

2 令和5年度主要工事の概要

令和5年度に工事継続中又は工事発注予定の主な事業は次のとおりです。

(令和5年4月現在)

○横手高等学校整備事業〔横手市〕 ・構造規模：RC造4/0 他 ・延べ面積：約14,500m ² ・事業年度：H30～R8	○大曲高等学校整備事業〔大仙市〕 ・構造規模：RC造3/0 他 ・延べ面積：約12,500m ² ・事業年度：R元～R8
○鹿角小坂地区統合校整備事業〔鹿角市〕 ・構造規模：RC造3/0 他 ・延べ面積：約3,500m ² ・事業年度：R2～R6	○金足農業高等学校整備事業〔秋田市〕 ・構造規模：RC造3/0 他 ・延べ面積：約13,800m ² ・事業年度：R3～R14
○湯沢高等学校整備事業〔湯沢市〕 ・構造規模：RC造4/0 他 ・延べ面積：約10,100m ² ・事業年度：R3～R12	○栗田支援学校整備事業〔秋田市〕 ・構造規模：RC造2/0 他 ・延べ面積：約12,900m ² ・事業年度：R3～R10



金足農業高等学校 完成予想図



湯沢高等学校 完成予想図

3 事業紹介

【完成施設】

(1)新複合化相談施設整備事業

[建築場所] 秋田市手形住吉町地内

[竣工工] 令和4年度

[計画概要] 新複合化相談施設

鉄筋コンクリート造

地上2階建て

延べ面積 約3,300m²

[施設の特徴]

新複合化相談施設は、中央児童相談所、女性相談所、福祉相談センター、精神保健福祉センターの4施設を複合化した新たな総合福祉相談施設です。

当該施設は、老朽化した施設の更新や、執務環境の改善、一時保護に係る生活環境の向上など、設備面の課題解決に加え、各施設の連携による相談機能の向上を図ることを目的に整備されました。

内装を相談者の心理を落ち着かせる色彩とし、自然光を十分に取り込んで明るい空間づくりに配慮するなど、相談者に寄り添い、安心と希望を与えられる施設となるよう計画されています。



【事業継続中施設】

(2)横手高等学校整備事業

[建築場所] 横手市睦成字鶴谷地地内

[竣工予定] 令和7年度

[計画概要] 管理・校舎棟、第一体育館、

武道場・第二体育館ほか

鉄筋コンクリート造4階建て ほか

延べ面積 約14,500m²

[施設の特徴]

「わが国や郷土のよりよい未来を切り拓くグローバル人材の育成」を基本理念とし、県内でも屈指の歴史と高い進学実績を有する、地域のシンボルとなるような学校を目指します。

校舎の配置については、管理・校舎棟、第一・第二体育館などを渡り廊下で接続し、生徒や職員にとって機能的で合理性に優れた配置計画となっています。

また、豪雪地という気候の特徴を踏まえ、建物の雪害や建物周囲の落雪に対する安全面のほか、敷地内の除雪にも配慮した計画としました。

外観は、重厚で落ち着きがあり、横手高等学校の伝統を感じさせる、シンプルなデザインとし、桑染色を外壁に採用することで、周囲の豊かな自然に調和するよう考慮しました。



(3)大曲高等学校整備事業

[建築場所] 大仙市大曲栄町地内

[竣工予定] 令和8年度

[計画概要] 校舎棟、第一体育館・武道場ほか

鉄筋コンクリート造3階建て ほか

延べ面積 約12,500m²

[施設の特徴]

大曲高校の基本理念「健(つよく)、律(ただしく)、愛(ゆたかに)」の精神を守り歴史と伝統を継承し、生徒一人ひとりの可能性を開花できるような魅力あふれる学校を目指します。

校舎棟と体育館棟は東側に配置し、外観は自然色、暖色系とすることで、周囲の住宅地に圧迫感を与えないよう配慮しています。また、来客・職員駐車場のほかに、登下校時の渋滞を緩和を目的とした乗降車スペースを敷地内に計画しました。

災害対策として、丸子川が氾濫した場合に備え、機械室・電気室を2階に設け、万が一浸水被害を受けても早期復旧できるよう考慮しました。

